

授業科目名	アドバンスト演習：応用アドバンスト (Advanced Seminar in Applied Veterinary Medicine)
-------	---

種 類	演 習	単位数	2	開講時期	5年次後期～ 6年次前期	履修区分	選択必修
開 設 大 学	共同獣医学課程						
科目責任教員	アドバンスト委員会委員長						
その他の教員	北海道大学・帯広畜産大学獣医学 獣医学共同課程専任教員						
キーワード							
<p>授業概要：</p> <p>「課題研究」や所属教室（配属教員）の研究に関連したテーマ（課題）を設定し、その課題の解決に必要な知識、実験手技、薬品や実験動物の適切な取り扱い、最先端の機器を利用した分析法や診断法などを習得させるため、「応用」に特化し、学生の到達目標（出口）としての将来進路を想定・説明し、大学教育と社会的役割の連結に資する演習を行う。「応用」の目標は獣医師の活動領域も地球規模に広がり、そのカバーする領域も飼育動物から野生動物やエキゾチックアニマルまで広範となり、病因も感染症や内的疾患だけでなく油田事故や人医薬品の誤飲など多様である。これらに関連する最新の知識や有用な検査・診断技術を身につけ、様々な獣医学関連分野において、その技能を応用する力を養うことである。</p>							
<p>到達目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特定の検査・実験法に関する資料・情報を入手できる。</li> <li>2. 薬品および器具の安全な取扱法を修得して、試薬調製や検査・測定ができる。</li> <li>3. 遺伝子等を適切に扱うことができる。</li> <li>4. 病原体等を適切に扱うことができる。</li> <li>5. 実験動物、野生動物を適切に取扱いできる。</li> <li>6. 特定のテーマや課題研究の遂行に必要な検査・実験を正確に実施し、正確な記録（研究ノート）を保存できる。</li> <li>7. 調査実験成績を解析・分析して結論を導くことができる。</li> </ol>							
<p>授業計画：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 設定されたテーマに関する講義。</li> <li>2. 設定されたテーマに関する実験法、実験手技の解説。</li> <li>3. 手技・手法を活用した実験実習。</li> <li>4. データの記録と解析。</li> <li>5. 結果の考察。</li> </ol> <p>開講予定演習題目（テーマ）：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 【実験動物医学演習】</li> <li>2. 【野生動物医学】</li> <li>3. 【新興再興感染症】</li> <li>4. 【原虫病】</li> </ol>							
<p>準備学習（予習・復習）等の内容と分量：</p> <p>設定されたテーマにより異なる。担当教員の指示に従うこと。</p>							
<p>成績評価の基準と方法：</p> <p>レポートを課し、薬品・実験器具・遺伝子・病原体・実験動物の取り扱い、検査・測定などの実験手技の習得状況や解析・考察などから総合的に判定する。</p>							
<p>テキスト・教科書： プリントを配布する。</p>							
<p>講義指定図書：</p>							
<p>履修にあたっての留意事項：</p>							
<p>参照 HP：</p>							
<p>研究室 HP：</p>							
<p>備 考：</p> <p>使用機器等の数的制限により、テーマにより履修者数を制限する場合がある。</p>							